

午前3時

午前3時
吹雪いていた・・・

街灯に照らされた僕は

誰ひとり歩く者なく

幻想は何ひとつ生まれず
眠りの中に閉じこもり

涙をとめどなく流し

孤独などどこにも存在しない
今の僕には

全ゆる音は吸い込まれ

この想いこそ届くがいい

全てを包むことができるのは、今のところ
御前だけだ

振り返れば足跡は半ば消えかかり

盲目となる時に浮かぶものこそ
全ゆる不安の源泉に違いあるまい

憩いの中に在る者達へ

(1994.1.31)